

環境活動レポート

2006



<http://www.ishizaka.gr.jp/>

産業廃棄物処理業者の優良性評価制度に基づいて情報公開中！

環境方針

私たち石坂グループはリサイクル事業及び廃棄物処理事業を通じ、循環型社会構築へ貢献し、限りある資源とすばらしい地球環境を次世代に引き継ぐため、積極的に環境と調和の取れた企業活動を進めます。

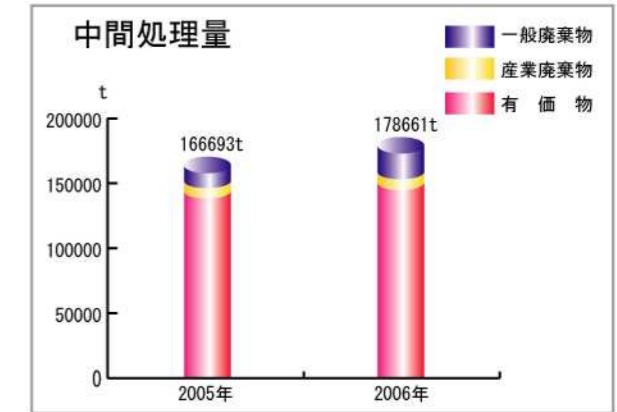
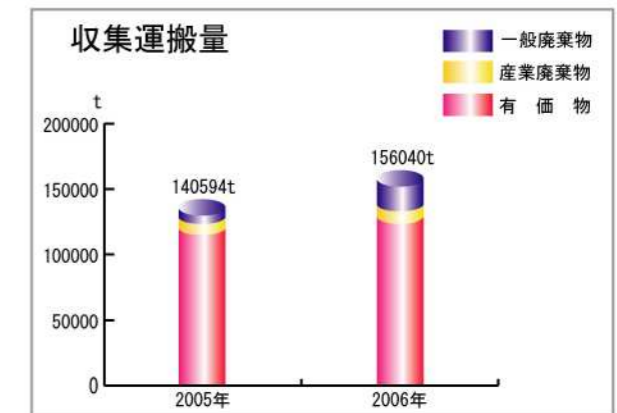
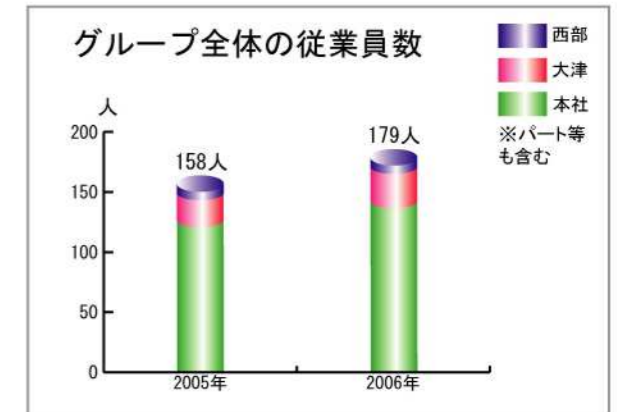
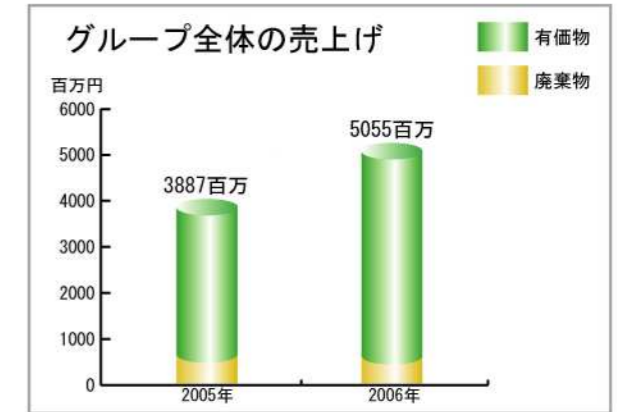
1. 廃棄物処理全般において、環境負荷の軽減を第一に考え、取扱い品のリサイクル率向上に最大限努めます。
2. 事業活動における環境影響を随時把握し、特に以下の項目については、優先的に活動し、継続的改善・汚染の予防に努めます。
 - ①水、電気等の資源エネルギーの有効活用に努め、使用量の抑制を図ります。
 - ②リサイクル化、リユース化を推進し、廃棄物の発生を抑制します。
 - ③有害物質の適正処理を推進し、対外放出の削減に努めます。
 - ④排水の環境改善と適切な管理をはかり、汚水の発生を抑制します。
3. 環境関連法規及び当組合が同意するその他の要求事項を遵守し、社内環境整備に努め、業界の環境リーダーを目指します。
4. 環境企業として社会的責任を果たすため、環境教育の場として施設の一般公開・見学・体験学習等を積極的に推進します。
5. この環境方針を全従業員に周知すると共に、一般の方に公開します。

2000年10月1日
有価物回収協業組合 石坂グループ
代表理事 石坂孝光



事業概要

- 名称**
有価物回収協業組合 石坂グループ
- 所在地**
本 社 工 場：熊本県熊本市戸島2874番地
大津事業所：熊本県菊池郡大津町杉水3746番地
西部事業所：熊本県熊本市上代7丁目28番11号
- 代表理事** 石坂孝光
- 設 立** 昭和54年5月24日
- 出 資 金** 7,000万円
- 事業内容**
 - ・有価物（製鋼原料、製紙原料、各種非鉄、ガラス・カレット、RPF、再生樹脂等）の回収・販売
 - ・一般廃棄物の収集運搬、リサイクル、処理
 - ・産業廃棄物の収集運搬、リサイクル、処理
 - ・廃棄物リサイクルに関するコンサルティング
- グループ会社**
(有)アイワ有価物処理企業 (有)石坂商店 (有)辻崎商店
(有)再生資源リサイクルセンター (有)石坂容器
- 登録・許可**
 - ・熊本県廃棄物再生事業者登録
 - ・熊本市リサイクル事業者認定
 - ・一般廃棄物処分量許可
熊本市、大津町
 - ・産業廃棄物処分量許可
熊本県、熊本市（優良性評価制度適合確認済）
 - ・一般廃棄物収集運搬業許可
熊本市・合志市・菊池市・大津町
益城町・菊陽町
 - ・産業廃棄物収集運搬業許可
熊本県・福岡県・佐賀県・大分県・鹿児島県
山口県・熊本市・福岡市・北九州市
大牟田市・大分市・鹿児島市
 - ・計量証明事業（質量）



環境マネジメントシステム

石坂グループは、本社工場にて、2001年度にISO14001の認証を取得しました。

また、環境保全の一端を担う企業として、石坂グループ全体の環境負荷を把握し、更なる環境への取組や意識の向上をはかるため、2006年度から本社工場に大津事業所及び西部事業所を加えた石坂グループ全体でエコアクション21（EA21）の取り組みをスタートしました。

エコアクション21の取組体制は、本社工場ですでに構築しているISO14001の環境マネジメントシステムをベースにしています。

環境マネジメントシステム組織図



グループ全体の物質収支

2006年度実績

エネルギー投入量 (単位: MJ)

	電 気	化石燃料	合 計
本社工場	10,887,855	8,594,431	19,482,286
大津事業所	2,126,023	1,008,929	3,134,952
西部事業所	515,800	808,221	1,324,021
車 両	—	17,728,605	17,728,605
合 計	13,529,678	28,140,187	41,669,865

水使用量 (単位: m³)

	水使用量
本社工場	7,657
大津事業所	573
西部事業所	169
合 計	8,399



CO₂排出量 (単位: Kg-CO₂)

	電 気	化石燃料	合 計
本社工場	418,678	585,842	1,004,520
大津事業所	81,753	68,495	150,248
西部事業所	19,834	55,162	74,996
車 両	—	1,216,610	1,216,610
合 計	520,265	1,926,109	2,446,375

環境目標と実績

地球温暖化防止のために

工場及び車両による「二酸化炭素排出量」について、環境目標を設定しました。2006年度は、工場、車両のいずれについても、環境目標を達成しました。

水資源保護のために

工場・車両の洗浄及び本社工場の処理工程の「水使用量」について、環境目標を設定しました。2006年度は、環境目標を達成できませんでしたが、これは、2006年度から本社工場にて水漏れがあったことと、ペットボトルの洗浄工場が稼動した為と考えられます。

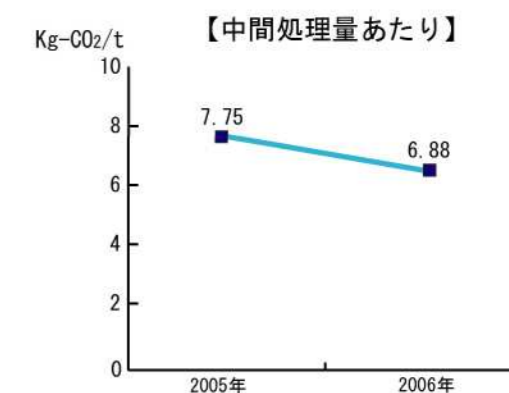
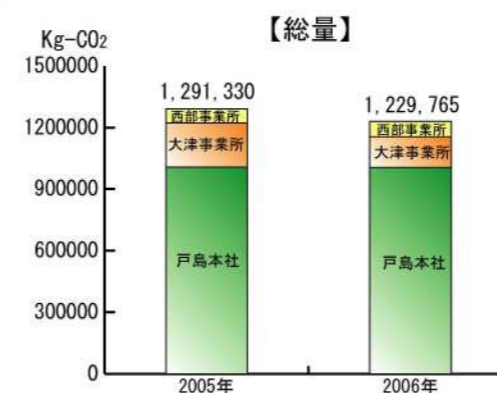
循環型社会形成推進のために

工場からの廃棄物等排出量の「リサイクル率」について、環境目標を設定しました。2006年度は、環境目標を達成できませんでしたが、これは、2006年度リサイクル率が低い建設等廃棄物の取扱量が増加したためと考えられます。

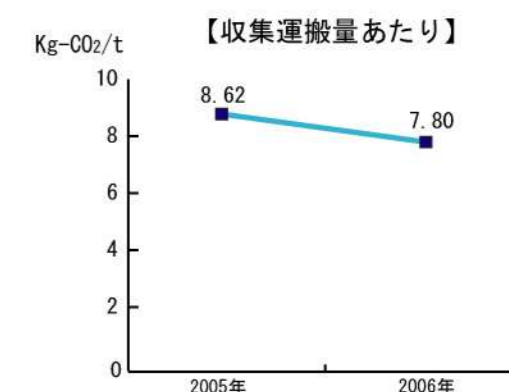
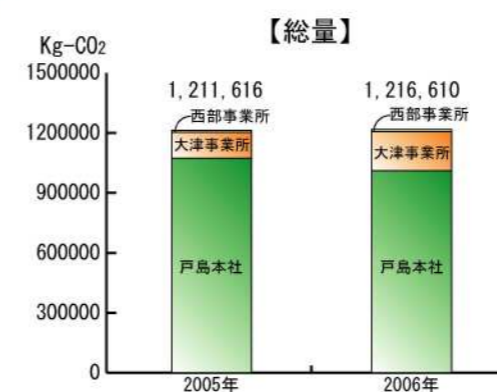
項目	単位	2005年度実績	目標	2006年度実績	主な環境行動計画
二酸化炭素排出量	工場 総量	kg-CO ₂ 1,291,330	—	1,229,765	<ul style="list-style-type: none"> 加工機械時間短縮及び切り替え運転の実施。 作業終了時の機械のブレーカーオフの実施 節電強化月間の実施。
	中間処理量あたり	kg-CO ₂ /t 7.75	7.52 (3%減)	6.88 目標達成	
	車両 総量	kg-CO ₂ 1,211,616	—	1,216,610	
	収集運搬量あたり	kg-CO ₂ /t 8.62	8.36 (3%減)	7.80 目標達成	
水使用量	総量	m ³ 7,509	—	8,399	<ul style="list-style-type: none"> 雨水タンク増設等の設備改善検討。 洗車時の雨水使用の促進と使用時間の短縮。 節水強化月間の実施。
	中間処理量あたり	m ³ /t 0.0450	0.0450 (現状維持)	0.0470 目標非達成	
廃棄物等排出量	再資源化等量	t 166,185	—	172,004	<ul style="list-style-type: none"> 適正処理の推進による、リピーター・固定客の確保。 排出先への廃棄物のリサイクル化への啓蒙啓発活動。 廃棄物の分別及びリサイクル研修会の実施。
	単純焼却最終処分量	t 3,160	—	4,285	
	リサイクル率	% 98.1	98.1 (現状維持)	97.6 目標非達成	

(自家発電用の重油及び地下水使用量は、来年度より把握します。)

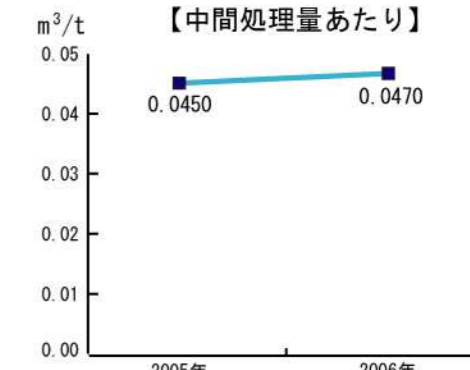
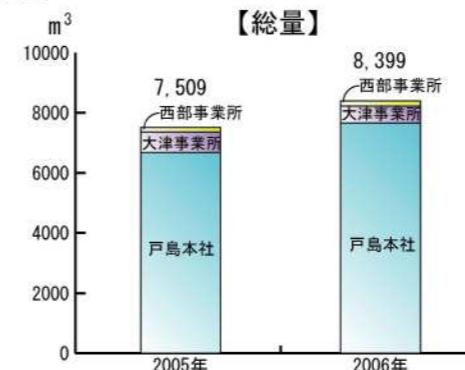
CO2排出量 (工場)



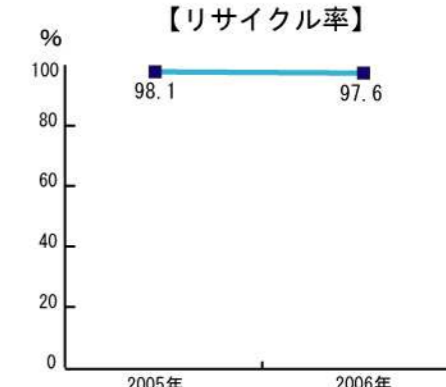
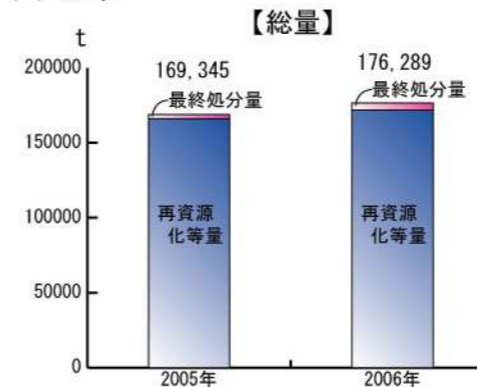
CO2排出量 (車両)



水使用量



リサイクル率



環境関連法規等の遵守状況

2006年度、当社グループによる環境関連法規違反、環境に重大な影響を与える事故、訴訟等はありませんでした。